

公表

事業所における自己評価結果

サービス種別	保育所等訪問支援
事業所名	ドリームズ・21st 千代田校

公表日 2026年3月10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教材教具は適切であるか	○		・教具ではないが、名札に平仮名が使用され、児童に受け入れられた。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか	○			
業務改善	3	職員の意見等を把握する機会が設けられており、その内容を業務改善につなげられているか	○			
適切な支援の提供	4	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			・保護者のニーズが不明確であったので、面談をより実施していきたい。
	5	定期的に保護者や学校の意向の確認やモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	○			・保護者のニーズが不明確であったので、面談をより実施していきたい。
	6	個別支援計画を作成する際には、学校と連携し、学校や担任等の意向を盛り込んでいるか	○		・担任と話し合うことを重視している。	
	7	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援にかかわる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○			
	8	個別支援計画が共有され、計画に沿った支援が行われているか	○			
	9	支援開始前には、職員間でその日行われる支援の内容や役割分担について確認し、学校と連携して支援を行っているか	○			
	10	支援開始後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	○		・支援内容や児童の様子についてレポートを提出している。	
	11	学校と授業内容の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか	○			
	12	毎回の支援に関して記録を取り、支援の検証・改善につなげているか	○		・学校での児童の様子を分かりやすく伝えている。	
	関係機関との連携	13	学校等をはじめ、関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○		
14		ハグシステム等を通じ、日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、支援の状況・課題について共通理解ができていくか	○			
保護者等への	15	学校に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか	○			
	16	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から訪問支援計画の同意を得ているか	○			

説明等	17	保護者からの子育ての悩みや子どもからの相談に適切に応じ、必要な助言と支援が行われているか	○			
保護者等への説明	18	ハグシステムなどで、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して必要に応じて発信しているか	○			
	19	個人情報の取り扱いに十分留意しているか	○			
学校への説明等	20	保育所等訪問支援の実施後に、学校とカンファレンスを行っているか	○			
	21	学校からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、助言を行っているか	○		・担任とは意見を述べ合い理解し合っている。	
非常時等の対応	22	緊急時対応・感染症対応・事故防止・虐待防止について適切な対応をしているか	○			
	23	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、子供や保護者に了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	○			